

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
			○	

事務事業No 764 事業名 国体開催準備事業

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	4	文化・スポーツの振興
施策	3	生涯スポーツの振興
基本方針	2	スポーツ人口の拡大と競技力の向上

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間		～	27年度
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	国体総務課	西端 孝智	
関連課	国体競技課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		総務費	
	項		総務管理費	
	目		国体推進費	
	大事業		国体開催事業	
	事項		国体開催事業	

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	国内最大かつ最高の国民スポーツの祭典を開催することで、競技力の向上とスポーツの普及を図ること、またおもてなしなどの市民運動を推進することで市民の連帯意識や郷土意識を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・14競技の円滑な運営及びその準備事業 ・市民運動によるおもてなし事業 ・競技別リハーサル大会の開催（平成26年度） ・国民体育大会の開催（平成27年度） 				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		①総会、常任委員会、専門委員会の開催（宿泊、医事衛生など各種計画の策定） ②先催都市調査 ③広報啓発活動 ④リハーサル大会等の開催準備	①総会、常任委員会、専門委員会の開催（各種計画の策定） ②先催都市調査 ③広報啓発活動 ④競技別リハーサル大会の開催 ⑤国民体育大会の開催準備	①総会、常任委員会の開催 ②広報啓発活動 ③国民体育大会の開催		

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	74,741	68,074	556,515		2,000,000					
伸び率 (%)	-	-	644.6%		259.4%		-100.0%		-	
人件費	常勤職員	280,867								
	非常勤職員	2,007								
小計										
国庫支出金										
県支出金			162,491		750,000					
市債										
その他	181	182	150,152		450,000					
一般財源（税等）	74,560	67,892	243,872		800,000					
所要人数	常勤職員	36.97								
	非常勤職員	0.95								
主な予算内訳	交付金532,374千円、建物借上料12,831千円 等									

3 目標及び実績

指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	年度目標値	実績値	全体目標達成度	全体目標達成度	年度別達成度	年度別達成度	年度別達成度	年度別達成度	年度別達成度
活動指標	準備（実行）委員会・常任委員会・専門委員会の開催回数				10	10	3		
	単位	回	全体目標値	23	43.5%	100.0%			
	広報PRに係る事業費				15,695,000	27,814,000			
	単位	円	全体目標値	43,509,000	35.1%	97.2%			
成果指標	成功に終わった競技数／和歌山市開催競技数						14		
	単位	競技	全体目標値	14	0.0%				
	国民体育大会の認知率				90	98.5	99		
	単位	%	全体目標値	99	99.1%	109.0%			

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>平成27年度に向け、国体の開催準備を進めてきているところであるが、国体の会期はすでに決定しているため、今後より事業ニーズは増加し、緊急的に取り組む必要がある。</p> <p>また、平成26年度、平成27年度は競技別リハーサル大会及び本大会を開催する段階にきており、今後、事業規模、事業費ともに大幅に拡大する。</p>
「見直し」 「改善」案	<p>事業規模、事業費ともに大幅に拡大するが、そのなかでも和歌山県や競技団体等関係機関と協議をすすめながら、より効果的かつ効率的な運営を目指していく。</p> <p>平成26年度に開催する競技別リハーサル大会の結果を踏まえ、平成27年度の本大会のよりよい運営に向けて改善点等を洗い出し、反映していく。</p>